

JOA Times 第4号（1981年1月）目次

第2回日本オリンピックアカデミー・セッションを終わって（p.1）

古代オリンピック競技祭の反映 岸野 雄三（筑波大学）（pp.1-2）

近代オリンピックの諸問題 清川 正二（IOC副会長）（pp.2-3）

モスクワ・オリンピックを観戦して 佐々木 秀幸（JOA会員）（pp.4-5）

JOA昭和54年度事業報告（会員総会報告資料）（p.6）

日本オリンピックアカデミー決算書（案）（p.7）

JOA昭和55年度事業計画（p.8）

JOA昭和55年度予算（p.9）

事務局だより（pp.10-11）

JOA TIMES

Japan Olympic Academy

第2回日本オリンピック

アカデミー・セッションを終って

古代オリンピック競技についての知識を深め、そこから得る歴史的教訓を踏まえて、近代オリンピック競技大会をゆがめる諸問題につき研究、討議するため3月22日(土)、体協・地下3階講堂で開催された。参加者は100名以上で盛大に行なわれた。

JOAの窪田会長の挨拶、JOCを代表して佐野国際部長(JOA副会長)の挨拶があり、講演会に入った。

「古代オリンピック競技祭の繁栄」

講師 岸野雄三(筑波大学 体育学群長)

〔古代のオリンピックについて〕

古代ギリシアについて考えた場合、東洋人には考えられないほど西欧ではギリシアを文化の先祖として尊敬している。古代という言葉を使っている近代人の鏡とするのが、古代ギリシアである。皆さんのように古代ギリシアとか、ローマ人の考え方は東洋人には非常に考えさせられる文化思想であり、スポーツの思想もルネッサンス時代のスポーツの問題を取っている。ソフィア(哲学)体育の語源もギリシア語である。ペントスロンについてもギリシア語である。古代のギリシア語は現代の学術語とか体育用語など、その多くがギリシア語を語源としている。スタディオンがスタジアムになっており、オリンピックもその通りである。オリンピックと言った場合オリンピック競技であり、スタディオンの意味については600歩測の距離、長さを表わしている。